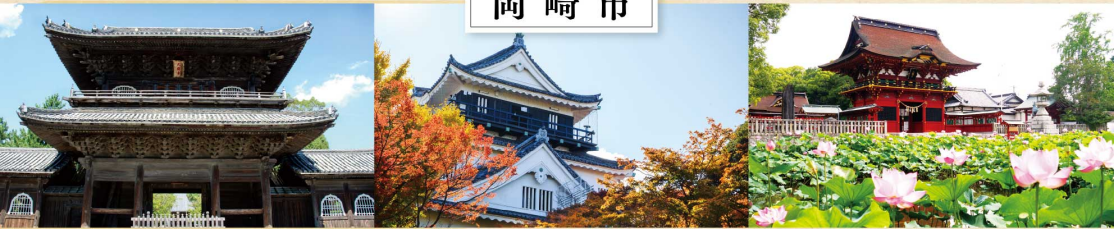




岡崎市



東三河



浜松市



岡崎～東三河～浜松は「徳川家康公」が激動の青壮年期を過ごした地域であり、家康公にまつわるスポットが数多く点在。家康公の名の下、県や市町村の垣根を越えて、史跡、寺社、城郭、伝統、逸話、食文化などの魅力をつなげていくプロジェクトを「三河・遠州 家康街道」と名付けました。

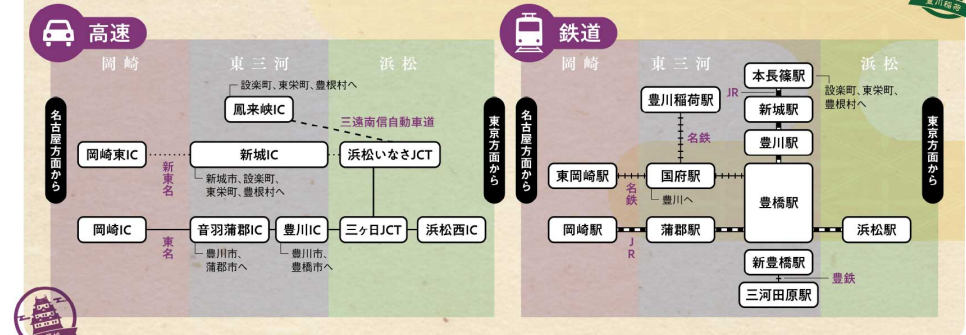
家康街道で  
地域の魅力をつなげる  
プロジェクト

家康街道で地域の魅力をつなげる  
プロジェクト推進委員会



戦国の世を終わらせて天下人となり、平和の礎を築いた徳川家康公。  
その激動の人生の舞台となった愛知県や静岡県には、  
家康公にまつわる史跡・寺社・城郭・伝統・逸話・食文化などが数多くあります。  
生誕の地《岡崎》、出世の地《浜松》、数々の武将が勢力争いの重要拠点とした《東三河》。  
この3圏域が連携し、「家康公苦難と躍進の半生」をめぐるストーリーを紡ぎだすため、  
「家康街道で地域の魅力をつなげるプロジェクト」がスタートしました。  
県や市町村の垣根を越えた広域横断のプロジェクトとして、  
さまざまな人に向けた情報発信、魅力ある周遊コースやツアー商品の開発などを推進。  
家康公が生きた地域がつながりあい、それぞれの宝を未来へとつないでいきます。

三河・遠州 家康街道エリアへのアクセス



岡崎おでかけナビ



東三河 ほんの国  
MEGURI



浜松・浜名湖  
だいすきネット

# 三河・遠州家康街道

徳川家康公にまつわるスポットを巡る家康街道。

家康公にとって激動の時代を過ごした三河・遠州エリアの

岡崎市、東三河(豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村)、浜松市に点在するスポットを7つのテーマでご紹介します。

## 【使い方】



全7テーマで紹介している出来事を地図と年表で巡ることができます。家康公の激動の時代と、心の軌跡に思いを馳せながら巡ってみたいはいかがでしょうか。

📍=大河ドラマ館

## CONTENTS

### 三河・遠州 家康街道

「戦乱を治めた天下人徳川家康とは」  
…… P02

### 1 三河・遠州 定番!家康街道

「戦国を生き抜いた家康公の軌跡を巡る」  
…… P04

### 2 三河・遠州 美食!家康街道

「今の世で味わいたい、家康公のグルメとみやげ」  
…… P06

### 3 三河・遠州 逆境!家康街道

「激戦の一向一揆を中心に三大危機を知る」  
…… P08

### 4 三河・遠州 必勝!家康街道

「天下人の願いを叶えたパワースポットへ」  
…… P10

### 5 三河・遠州 悲哀!家康街道

「悲運に見舞われつつ、武家社会を生きる」  
…… P12

### 6 三河・遠州 相棒!家康街道

「人の心を掴む力と、信頼で味方につける」  
…… P14

### 7 三河・遠州 青春!家康街道

「人質生活から自立し、東三河や遠州へ進出」  
…… P16

まだある家康公ゆかり&戦国歴史スポット…… P18

掲載されている情報は2022年10月現在のものです。データは①電話、②所在地、③営業時間、④休業日(年末年始、お盆休みは除く)、⑤料金を表しています。情報は変更される場合がありますので、予めご了承ください。



## 戦乱を治めた天下人 徳川家康とは

1542(天文11)年、岡崎城で生まれる。幼少期に人質となり、青年期は戦いに明け暮れるなど、戦乱の只中を生き抜いた。1600年の関ヶ原の戦いで東軍を率いて勝利し、天下を統一。260年続いた江戸幕府の初代将軍となる。性格は忍耐強く、健康志向で、儉約家とされる。趣味は鷹狩り。1616(元和2)年、当時としては長寿である75歳で駿府城にて没した。

西暦	和暦	出来事	年齢
1541	天文10	父母結婚(鳳来寺へ子宝祈願)	
1542	天文11	出生(12月26日)	1
1544	天文13	父母離縁	3
1547	天文16	織田信秀の人質として尾張へ	6
1549	天文18	今川義元の人質として駿府へ	8
1555	天文24	元服	14
1557	弘治3	築山殿と結婚	16
1560	永祿3	桶狭間の戦い 岡崎城主となる	19
1561	永祿4	牛久保城の戦い	20
1562	永祿5	清洲同盟を結ぶ 上ノ郷城を攻略 隨念寺建立	21
1563	永祿6	三河一向一揆勃発	22
1564	永祿7	三河一向一揆鎮圧 吉田城を攻略	23
1565	永祿8	田原城を攻略	24
1566	永祿9	三河国統一	25
1568	永祿11	遠江国へ進出	27
1569	永祿12	堀川城の戦い	28
1570	元亀元	姉川の戦い 浜松城主となる	29
1572	元亀3	三方ヶ原の戦い	31
1573	元亀4	野田城の戦い 長篠城攻め	32
1574	天正2	第二次高天神城の戦い	33
1575	天正3	長篠・設楽原の戦い	34
1579	天正7	築山殿の殺害 松平信康の自害	38
1581	天正9	第三次高天神城の戦い	40
1582	天正10	本能寺の変 伊賀越え	41
1584	天正12	小牧・長久手の戦い	43
1586	天正14	浜松城から駿府城へ	45
1590	天正18	小田原征伐 江戸城に入城	49
1600	慶長5	関ヶ原の戦い	59
1603	慶長8	江戸幕府を開く	62
1607	慶長12	駿府城を築く	66
1615	慶長20	大坂夏の陣	74
1616	元和2	駿府城で病死	75
1651	慶安4	3代家光の命で 鳳来山東照宮を建立	

※年齢は数え年の表記。  
※■は家康公が、主にこのエリアで活躍した年代を示しています。

# 家康公の定番!スポット

家康公の勢力を示す城と、運命を分けた合戦の地へ。  
城を巡りながら大きな戦いを繰り返して勢力を伸ばしていった、その生涯を感じたい。

静岡・浜松

## 4 浜松城(浜松城公園)

はままつじょう(はままつじょうえん)

東部進出の足がかりに、17年を過ごした出世城

家康公が築城し、29歳から45歳までの17年間を過ごした城。天下を取った家康公のほか、歴代城主が幕府の要職に多く登用されたことから「出世城」と呼ばれるようになった。2022年12月下旬にリニューアルオープンする予定。隣接地に大河ドラマ館が2023年1月22日(日)にプレオープンし、2023年3月18日(土)にグランドオープンの予定。



☎ 053-453-3872 ● 静岡県浜松市中区元城町100-2 ● 8:30~16:30(入場~16:20) ● なし ● ¥200 ※浜松城公園は入場自由

静岡・浜松

## 5 三方ヶ原古戦場

みかたがはらこせんじょう

戦国最強の武田軍から、命からがら敗走した

遠江国へ進出する武田信玄を迎え撃つ家康公。軍が浜松城を通り過ぎるように見せた信玄の策略に引っかかり、背後から討つために追撃。これにより武田軍の得意な野戦に誘い込まれ、徳川軍は総崩れになってしまった。約1000人の戦死者を出し、家康公も討死寸前で浜松城へ逃げ帰る大敗北だった。



☎ 053-452-1634 (浜松観光インフォメーションセンター) ● 静岡県浜松市北区横洗町(三方原墓園駐車場敷地内) ● ● 見学自由

関連する人物

武田信玄  
たけだのぶひら

「甲斐の虎」と呼ばれて、当時最強と恐れられた武将。上杉謙信と何度も戦った川中島の戦いが有名。

愛知・新城

## 6 設楽原決戦場(設楽原歴史資料館)

したらかはらけっせんじょう(したらかはらけしきしりょうかん)

武田騎馬軍を破った戦いを実感できる

設楽原決戦場の跡に建つ資料館ならではの、設楽原布陣図や信玄砲といった、多くの資料や文献などが見られる。火縄銃や設楽原から出土した鉄砲玉、鳥居強右衛門陣図のほか、設楽原の決戦での戦没者を弔うために地域の人々が始めた祭り、火おんどの紹介などもされている。



☎ 0536-22-0673 ● 愛知県新城市竹広字信玄原552 ● 9:00~17:00(入館~16:30) ● 火(祝日の場合は翌平日) ● 入館¥330

歴史トリア

鳥居強右衛門  
とりいすけとむら

長篠城で家康公へ援軍要請をする役を買って出た足軽。武田軍に捕まり「援軍が来ない」と嘘を伝えるように脅されたが、「援軍が来る」と叫んで殺されてしまったヒーロー。

愛知・岡崎

## 1 大樹寺

だいいじ

桶狭間の戦い後、浄土を目指すことを決意

松平家・徳川将軍家の菩提寺。桶狭間の戦いから逃げ帰って自害しようとした家康公は、善上人からの「厭離穢土欣求浄土」の言葉により、太平の世を目指す決意をしたという逸話が残る。大樹寺と岡崎城を結ぶビスタラインの眺望景観のほか、宝物殿・大方丈拝観では歴代将軍の等身大の位牌などが見られる。



☎ 0564-21-3917 ● 愛知県岡崎市鶴田町字広元5-1 ● ● 境内自由 ※宝物殿・大方丈拝観は● 9:00~16:00(拝観受付~15:30) ● なし ● 拝観料¥400(23年1月から¥500)

愛知・岡崎

## 2 岡崎城(岡崎公園)

おかざきじょう(おかざきじょうえん)

家康公生誕の城

家康公が桶狭間の戦い後に、19歳で城主となった岡崎城。岡崎城と三河武士のやきた家康館は現在リニューアル中で、2023年1月21日(土)にオープンする予定(三河武士のやきた家康館は大河ドラマ館としてオープン予定)。岡崎公園内には家康公の銅像や産湯の井戸などもあり、週末はグレート家康公「笑」武将隊の演武なども見られる。



☎ 0564-22-2122(岡崎城) ● 愛知県岡崎市康生町561-1 ● 9:00~17:00(入館~16:30) ● なし ● ¥300 ※岡崎公園は入場自由

愛知・豊橋

## 3 吉田城(豊橋公園)

よしだじょう(とよはしこうえん)

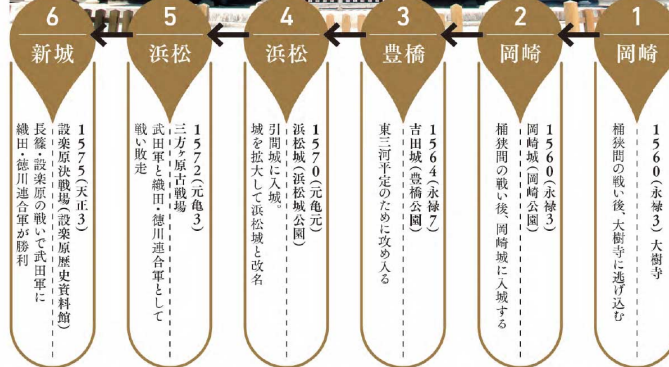
交通の要衝であり、三河平定の重要拠点

東三河の拠点として家康公が攻略し、城主に酒井忠次を据えた吉田城。後に姫路城を築く池田輝政が大改修した鉄橋下の石垣などが見られるほか、忠次が長篠・設楽原の戦いの褒美として信長から贈られた羽羽織の復元展示もある。2023年は石垣の工事が予定されているため、貴重な石積み作業の様子を見られるかもしれない。



☎ 0532-51-2430(豊橋市観光プロモーション課) ● 愛知県豊橋市今橋町3 ● 10:00~15:00 ● 月(祝日の場合は営業) ● 無料 ※豊橋公園は入場自由

大樹寺



東西の強者に挟まれて生き延びる術を求め、徳川の乱以降に始まったとされる戦国時代。駿河の今川家や甲斐の武田家などの守護大名が発展を遂げていた。三河では1530年代に松平家が勢力を伸ばしていたが、徳川家康公の祖父にあたる松平清康の暗殺事件「守山崩れ」によって衰退を余儀なくされた。その頃、隣国である尾張の織田家は勢いを増しており、美濃の斎藤家の台頭も脅威となっていた。東側に今川や武田、西側に織田や斎藤といった強者に挟まれ、弱小化した松平家は窮屈な時代を過ごしていた。そうした流れの中で

1542(天文11)年12月26日に家康公は誕生する。戦国時代のせめぎ合いは、家康公にとって幼少期の人質や誘拐などの悲しい出来事の原因であり、今川からの独立の契機になった桶狭間の戦い、武田軍に惨敗した三方ヶ原の戦い、武田軍に打ち勝った長篠・設楽原の戦いといった数々の合戦も繰り返されることになった。織田家と同盟を結び、岡崎城から吉田城、浜松城へと、東に向かって重要な城を押さえていったことも特徴的だ。家康公が天下人として開いた江戸幕府は約260年も続いた。平和への思いを強く持っていた家康公の生涯を辿り、その心を感じてみたい。

# 1 戦国を生き抜いた家康公の軌跡を巡る

三河・遠州 定番! 家康街道

家康公の人生において、三河や遠州は幼少期や19歳~45歳までの激動の青壮年時代を過ごした地域。このエリアでの経験や学びが、天下安寧の時代を築く礎になったとされている。

# 家康公みやげ

家康公の持つ数々の逸話をモチーフに、各店がアイデアを凝らした和洋菓子のほか、当時の名前そのままの和菓子や古い歴史を持つ食材も。

## 葵出世ロール「いざ天下取り」

西尾産の抹茶が味わいのアクセントに

自慢のあんバタークリームをふわふわの生地で巻いたロールケーキ。自家製クリームに、粒あんと柔らかな栗が絶妙にマッチしている。



●豊川:こざかいとら 0533-72-2390 ●愛知県豊川市伊奈町緑地26-207 9:30~19:00 ●火(臨時休業あり)

松平清康が伊那城主本多家の家紋「立葵」を気に入り、徳川家の「三つ葉葵」発祥になったという話に由来。



## 開運貫木

家康公を守った総門の貫木をモチーフに

刻んだ栗入りのこしあんを包んだパイ。大樹寺にいた怪力の僧が総門の貫木を振り回して織田軍から家康公を助けたという話が残る。

●岡崎:旭軒元道本店 0564-22-0414 ●愛知県岡崎市康生通東1-2 9:00~18:00 ●不定

## 濱納豆

家康公が常食するほど愛した発酵食品

元々は、寺の台所である納所で作られたことから「納豆」と言われ、保存・栄養食として広まったとされる。戦国時代には寺を本陣にした武將たちに好まれ、時に家康公は常食するほど愛したと言われている。



●浜松:大福寺 053-525-0278 ●豊橋:國松本店 0532-52-5252

## 銭取



## 小豆餅



### 三方ヶ原での敗走の逸話に因む

粒あんを包んだ黒蜜風味の餅ときな粉がよく合う「小豆餅」と、黄身あんとバターとの風味が良い小判型の和風マドレーヌ「銭取」。三方ヶ原の戦いで敗走中の家康公が空腹のあまりに食べた小豆餅と、その代金を払わずに追手から逃げたのを、店の老婆が追いかけて銭を取ったという逸話に因んだ菓子。

●浜松:御菓子司あおい 053-435-3365 ●静岡県浜松市東区有玉北町1593 8:00~20:00 ●不定

# 最新家康公グルメ

エピソードに因んだものから、自由な発想で開発したのまで。満足度、食感、味わいなどどれも、うれしい驚きがある、最新家康公グルメの数々。

## 家康鯛天井

ふっくら柔らかな鯛の天ぶらを味わおう

家康公の好物だったとされる鯛の天ぶら。大きめにカットされた国産の天然真鯛の天ぶら2枚をメインに、季節の野菜の天ぶらも盛り込まれており、贅沢な素材の味とボリュームに大満足できる。



●新堀:長福庵食堂(長福設楽原PA下り線) 0536-25-7710 ●愛知県新城市富永住居田33-3 7:00~22:00 ●なし

## 武将弁当 徳川家康

健康に良い地元の食材をふんだんに味わえる

滋養強壮に良いうなぎと静岡産の小鯛がメインのちらしずし。國松本店の濱納豆や桜エビなど地元の食材がふんだんに盛り込まれる。



※イベント時のみの販売のため、問い合わせは合資会社 壺屋弁当部 0532-31-1131まで。

## 長篠合戦ソフト

口の中が合戦状態になりクセになるパチパチ食感

パチパチと弾ける食感のトッピングを使い、長篠・設楽原の戦いを表現したユニークなスイーツ。あっさりとして滑らかな牛乳ソフトクリームも美味。

●新堀:長福庵食堂(長福設楽原PA下り線) 0536-25-7710 ●愛知県新城市富永住居田33-3 11:00~19:00 ●なし

## イエヤスノツルギ

和の魅力を詰め込んだ家康公スイーツ

黒蜜ゼリー、鹿の子餅、きな粉などの素材を使い、抹茶を練り込んだモチモチのクレープ生地でも和を表現。天下を取った家康公の刀の形のクッキーのトッピングもあるので、写真映えも。

●岡崎:TERAKADO COFFEE(テラカドコーヒー) 0564-79-0421 ●愛知県岡崎市松本町42-78 10:00~17:00 ●月



### 長寿だった家康公の食の特徴

- ①粗食を好む
- ②旬の食べ物を好む
- ③温かい食べ物を好む

「長寿こそ勝ち残りの源」と健康に気を配っていた家康公。生涯食べ続けたという味噌や麦飯は質素に見えても実は良質な栄養源であり、暑熱暴食などで不調を来さないようにしつづ、旬の食材でスタミナをつけていたようだ。

## 健康&パワーグルメ

旬の味わいを大切にしたパワーフードをはじめ、一生懸命食べ続けたという味噌と麦飯など、家康公にあやかって、健康&パワーグルメを楽しもう。



### うなぎ

香ばしいうなぎの蒲焼きは滋養強壮に効果抜群!

脂の乗った身と甘いタレが香ばしく焼かれる旬の旬が食欲をそそる蒲焼き。名産地の浜松では「健康寿命日本一」を支える地元産の旬の食材や料理を「浜松パワーフード」と定義しており、うなぎもそのひとつ。

●浜松:うなぎ料理 あつみ 053-455-1400 ●蒲郡:一松蒲郡本店 0533-68-3955

## 菜飯田楽

素朴かつ上品な味わいのヘルシー味噌料理

家康公が生涯にわたって食べ続けたという味噌。数ある味噌料理のなかでも、菜飯田楽はとてもヘルシーな食事としておすすめ。刻んだ大根の葉を混ぜ込んだご飯と、焼き上げられた豆腐田楽の組み合わせがよく合う。

●豊橋:きく宗 0532-52-5473 ●岡崎:八千代本店 0564-22-0287 ●豊橋:いちよう 0532-48-4680



写真は『きく宗』

## 麦飯とろろ

食物繊維豊富な麦飯と、滋養強壮のとろろ

家康公が好んで食べたという麦飯。麦は現代でも生活習慣病の予防効果があるとされる食物繊維の豊富な食材だ。滋養強壮効果のある自然薯などの山芋を合わせる麦飯とろろは、究極のパワー&ヘルシー料理なのかもしれない。

●豊橋:黒やなぎ 0532-53-3343 ●浜松:とろろや佐鳴台本店 053-448-1905



## 五平餅

昔ながらの味を継ぐ、山里定番の味わい

中部地方の山間部に伝わる味噌を使った郷土料理、五平餅。半濁しにしたうるち米を木串につけて形を整え、甘辛の味噌ダレやくるみダレなどで香ばしく焼き上げる。各店によって味や作り方が異なるので、いろいろと試してみてもいい。

※奥三河を中心に道の駅、飲食店など多数あり。



# 今この世で味わいたい、家康公のグルメとみやげ

家康公の食の特徴を捉えた現代で味わう健康&パワーグルメ。家康公をモチーフに趣向を凝らした家康公グルメ。数々のエピソードに因んだアイデア商品や定番商品などの家康公みやげが揃う。

# 家康公の運境! スポット

石川や三重など各地で起こった一向一揆のなかでも西三河で起こったものを「三河一向一揆」と呼ぶ。この一向一揆の舞台と、三大危機で命拾いをした逸話が残る寺院をご案内。

## 一向一揆

家康公の家臣が、上宮寺から強引に兵糧米を徴収したことがきっかけ。門徒である有力家臣が一揆側についたことなどから苦戦し、家康公自ら指揮を執って鎮圧した。

## 伊賀越え

本能寺の変の際、大阪にいた家康公。明智光秀の領地を通らねば岡崎城に戻れず、それが困難なことは歴然だった。そこで自刃も考えた家康公を、徳川四天王や服部半蔵などが説得し、山や海を通る複雑なルートで逃走した。

**関連する人物**

**織田信長** おだのぶなが  
家康公と同盟を組み、尾張国を統一。天下統一を目前にしながら、明智光秀による本能寺の変によって没した。

**歴史トリア**

**服部半蔵** はっとりはんぞう  
家康公に仕えて活躍したのは2代目服部半蔵。伊賀忍者とされる初代が松平家に仕えるために移住しており、2代目半蔵は伊賀ではなく岡崎出身、忍者であり武将だったとされる。

## 三方ヶ原の戦い

織田・徳川連合軍と武田軍との戦い。武田軍の陽動作戦で窮地に追い込まれた家康公は、家臣が身代わりに討ち死にするなど命の危機に瀕した。敗走中に空腹だった家康公の逸話である「小豆餅」と「銭取」は地名となり、歴史を今に伝えている。

**静岡・浜松**

**5 浜松八幡宮** はままつはちまんぐう

家康公の守り神として楠の伝説も残る神社

浜松城の鬼門の方角にあるため、鬼門鎮守の守り神として信仰した家康公が何度も参拝したという。また境内の楠には、家康公が三方ヶ原の戦いから敗走する途中で、楠の穴に潜んで難を逃れたという逸話も残る。

053-544-7111 静岡県浜松市中区八幡町2 境内自由

**愛知・岡崎**

**1 上宮寺** じょうぐうじ

壮絶な一向一揆のきっかけになった寺

家康公の家臣が上宮寺で強引な兵糧の徴収を行い、これに憤慨した寺側と家康公側が衝突したことが一向一揆の発端に。上宮寺は、岡崎の勝鬘寺、安城の本證寺とともに三河三カ寺と呼ばれ、一向一揆を主導した。

0564-31-6277 愛知県岡崎市上佐々木町梅ノ木34 境内自由

**愛知・岡崎**

**2 勝鬘寺** しょうまんじ

一向宗の拠点として激しい戦いの場所に

鎌倉時代創建の三河最初の真宗道場とされる寺。三河三カ寺のひとつとして一向一揆を主導。激しい戦いの末に大伽藍が兵火により焼失するなどの被害を受けた。現在の本堂は1734(享保19)年に再建されたもの。

0564-51-3443 愛知県岡崎市針崎町朱印地3 境内自由※参拝時間 7:00~17:00

**愛知・岡崎**

**3 山中八幡宮** やまなかはちまんぐう

鳩に助けられた若き日の家康公

家康公の父広忠の再興とされる神社。家康公が一向一揆の追手から身を隠した洞窟がある。洞窟に追手が追ると2羽の鳩が飛び立ったため、敵は「誰もいない」と判断。家康公は命拾いをし、洞窟は鳩ヶ窟と呼ばれる。

0564-48-3513 愛知県岡崎市藤木町宮下8 境内自由

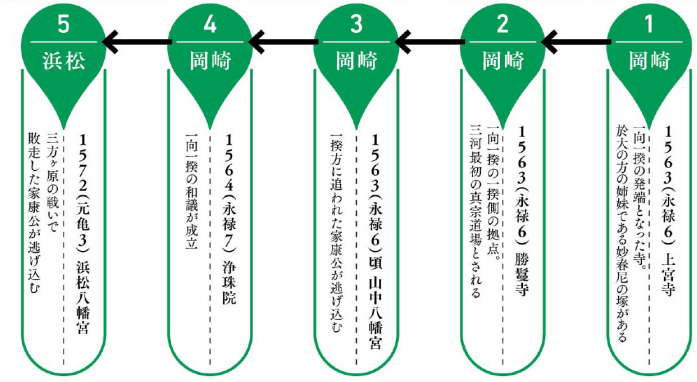
**愛知・岡崎**

**4 浄珠院** じょうしゅいん

家康公が本陣にした浄土宗の寺院

一向一揆の制圧に向け、家康公が指揮を執るために本陣を置いた寺。1564(永祿7)年、一揆側から提案された和議を浄珠院で成立させ、戦いに幕が引かれた。領地での争いが収まり、家康公は三河統一へと突き進んだ。

0564-52-5253 愛知県岡崎市上和田町北原敷55 境内自由



負けて死を覚悟し、最後に、天下を取る

桶狭間の戦いの後、今川家から自立した家康公は、織田信長と清洲同盟を結ぶことによって西三河を平定する。そこに新たな難題として起こったのが一向一揆。いつの時代も政治、戦争、宗教が世の中を大きく動かすことがあるが、この当時はその影響が顕著であった。宗教団体のなかでも一向宗と呼ばれた浄土真宗は、組織や軍備なども大名に引けをとらなかつたため、各地で起こった一向一揆は多くの戦国大名たちを苦しめたという、まさに強敵。また家臣にも門徒がいたことから家臣団を二

分する事態にもなり、地元や身内などの身近な問題であることも家康公を悩ませた。収束後、一向宗側についた家臣を罰することなく受け入れたことが、この戦いへの対応の難しさを表しているようだ。その9年後の三方ヶ原の戦いは、武田軍を相手にした家康公が討死寸前となる屈辱的な大敗北となり、さらに10年後の伊賀越えは、30人あまりの集団で敵陣を突破するという至難の業を成し遂げた。家康公の遺訓の一文には「勝つ事ばかり知りて、負けること知らざれば害その身にいたる」とある。三大危機を知ることで、その「負け」の意味が理解できるかもしれない。

# 3 激戦の一向一揆を中心に 三大危機を知る

生涯のうち、幾度となく戦ってきた家康公には「三大危機」と言われる絶体絶命のピンチがあった。三河で起こった「一向一揆」をはじめ、「三方ヶ原の戦い」「伊賀越え」についてチェックしておきたい。

# 家康公の必勝!スポット

両親が子宝祈願をした寺、大戦の前に参詣した伊賀八幡宮や大旗を奉納した賀茂神社など、家康公ゆかりの寺社仏閣と、自らが神になった東照宮へ。

愛知・蒲郡

## ⑤ 八百富神社

やおとみじんじや

自然のパワーに満ちた  
風光明媚な竹島にある

竹島弁財天(市杵島姫命)を祀る神社。関ヶ原の戦いの前に家康公が参拝して勝利したという伝承がある。自然の気やパワーを感じられるスポットとしても人気が高い。



① 0533-68-3700 ② 愛知県蒲郡市竹島町3-15 ③ 境内自由

愛知・岡崎

## ⑥ 伊賀八幡宮

いがはちまんぐう

徳川家の守護神として大戦の前に必ず参詣

1470(文明2)年に、松平4代親忠が創建。松平家の氏神であり、家康公は大きな戦の前には必ず参詣したとされている。3代家光は、徳川家の武運長久や子孫繁栄の守護神である伊賀八幡宮に家康公を合祀した。



① 0564-26-2789 ② 愛知県岡崎市伊賀町東郷中86 ③ 境内自由

愛知・岡崎

## ⑦ 瀧山寺・瀧山東照宮

たきさんじ・たきさんとうしょうぐう

由緒ある古刹と並び日本三大東照宮がある

1300年前に開かれた古刹、瀧山寺と、隣接する瀧山東照宮。3代家光により創建された東照宮は、日光東照宮、久能山東照宮と並び「日本三大東照宮」に数えられている。江戸前期の東照宮様式の極彩色の社殿が美しい。



① 0564-46-2296 ② 愛知県岡崎市滝町山輪107 ③ 境内自由 ※宝物殿は9:00~17:00 ④ 不定休(瀧山寺)、土日のみ営業(瀧山東照宮) ⑤ 宝物殿V400、東照宮は別途Y200

歴史トリア  
東照宮の由来

家康公は「一周忌が過ぎたら日光山に神として祀ること」という遺言を残し、死後朝廷から東照大権現の神号が贈られて日光東照宮が建立された。全国の東照宮は、東照大権現である家康公を祀る神社のこと。

Column

### 寅童子伝説

薬師如来には、それぞれ千支の守り神とされる12人の眷属(けんぞく)があり、風来寺には12体の眷属の像が安置されている。家康公が、寅年、寅の日、寅の刻に生まれると、寅の守り神である真達羅大将(しんだらだいしょう)が風来寺から消え去り、家康公が亡くなると元の位置に戻ったという。その不思議な言い伝えから、家康公が真達羅大将の生まれ変わりとする寅童子伝説が語られるようになった。

愛知・新城

## ① 鳳来寺・鳳来山東照宮

ほうらいじ・ほうらいさんとうしょうぐう

両親の願いを叶えた寺と秘話から誕生した東照宮

703(大宝3)年に利修仙人によって開かれた鳳来寺。広忠と於大の方が子宝祈願に訪れ、その翌年に家康公を授かったという。鳳来山東照宮は、家康公の誕生秘話に感動した3代家光によって建立された。



① 0536-35-1004(鳳来寺) / 0536-35-1176(鳳来山東照宮) ② 愛知県新城市門谷字鳳来寺 ③ 9:00~16:30(鳳来寺) 9:00~16:00(鳳来山東照宮) ④ なし ※鳳来寺山パークウェイ駐車場は⑤ 8:00~18:00 ⑥ 駐車料Y550~

愛知・豊橋

## ② 安久美神戸神明社

あくみかんべしんめいじや

祭りの思い出とともに大切にされた神社

赤兎と天狗の闘いを表現した豊橋鬼祭りが有名。1554(天文23)年、家康公が13歳の時に境内の松の根元に腰掛けて鬼祭を観覧したといわれる。征夷大將軍になった後、神領や太刀などを寄進した。



① 0532-52-5257 ② 愛知県豊橋市八町通3-17 ③ 境内自由 ※受付時間9:00~16:00

愛知・田原

## ③ 長仙寺

ちやうせんじ

本陣の寺で祈祷し、東三河の平定を実現

如意輪観自在菩薩を本尊とする真言宗の寺。吉田城を攻略した家康公が、田原城を攻撃するために1565(永祿8)年に本陣を張った。家康公は戦勝祈祷と前厄祈祷をし、その霊験から田原城を攻略できたとされている。



① 0531-27-0817 ② 愛知県田原市六連町居屋敷26 ③ 境内自由

愛知・豊橋

## ④ 賀茂神社

かもじんじや

家康公ゆかりの大旗神事が伝わる神社

遠州出陣の武運長久を祈願して大旗を奉納した家康公が、後に天下人となったことから必勝祈願や立身出世にご利益があるとされる。その後、家康公が衛生祭用に奉納した大旗は、今も大旗神事で飾られている。



① 0532-88-3359 ② 愛知県豊橋市賀茂町字神山1 ③ 境内自由

風来寺山



その生涯を感じられる  
家康公にまつわる寺社

合戦はもちろん、飢饉、病氣などが発生することで、死と隣り合わせだった戦国時代。死が身近で、自らも誰かを殺める可能性のあった戦国武将たちには、死に慣れている印象があるかもしれない。しかし、武将でも、商人でも、農民でも、変わらずに命はひとつであり、また戦国武将においては、身内、家臣、同盟国であっても裏切りがつきものであった。そのため神仏を心の拠り所として頼った戦国武将は多く、戦場に向かう途中に神社や仏閣があれば、そこで必勝祈願することは普通

のことだったとか。各地の神社・仏閣に武将の参拝の記録が数多く残っていることも、そのためと考えられる。特に信仰を集めたのは武運長久に霊験のある神であった。家康公も松平家の子孫繁栄や武運長久の守護神である伊賀八幡宮に、大きな戦いの前に参拝をしたと伝わっている。家康公の信心深さについては定かではないが、折に触れ神仏への参拝や寄進を欠かさなかった。家康公の一生で見れば、生まれる前の父母の鳳来寺参拝に始まり、自身の死後の日光東照宮の造営や3代家光による鳳来山東照宮造営があり、後の徳川の歴代將軍にも信仰が引き継がれていったのである。

# 4 天下人の願いを叶えた パワースポットへ

三河・遠州 必勝! 家康街道

命の危機が身近だった戦国武将は神仏に心の拠り所を求めていたとか。両親が子宝祈願をした鳳来寺や戦勝祈願をした伊賀八幡宮など、家康公ゆかりの神社・仏閣、家康公が祀られた東照宮などへ参拝しよう。

# 家康公の悲哀!スポット

幼少期から家族との別れがあり、田原城主の裏切り、人質生活、父の暗殺、正室と嫡男の死など、数々の悲劇に見舞われた家康公。その悲運にまつわる城や寺をご紹介します。

**歴史トリア**  
義理の祖父に裏切られる

家康公の父母が離縁した後、父広忠の後妻に入ったのが田原城主、戸田宗光の娘である真喜姫だった。つまり義理の母の父親に誘拐されて売られてしまったのである。



**愛知・田原**  
**1 田原城跡**  
たはらじょうせき

渥美半島を治めた戸田氏の堅固な城

海へのアクセスと防御のメリットを重視して、干潟に囲まれた丘に築城。4代城主の戸田宗光は、家康公を人質として駿府に送る任務を今川義元から受けていた。しかしながら今川氏に離反して家康公の身柄を奪取し、織田家に売り渡してしまったという。結局、義元の怒りを買って攻め込まれ、戸田氏は滅亡した。この丸跡は国の重要文化財も展示する歴史博物館になっている。

① 0531-22-1720 (田原市博物館) ② 愛知県田原市田原町巴江11-1  
③ 9:00~17:00 (入館~16:30) ④ 月曜 (祝日の場合は翌日) ⑤ ¥310

**静岡・浜松**  
**2 二俣城跡**  
ふたまたじょうあと

戦国の無情を感じる嫡男信康の最後の地



家康公と武田軍との激戦があったことで知られる城。天竜川に面した天然の岩を持つ難攻不落の城として有名だ。また、ここは家康公が嫡男松平信康を切腹させた悲劇の場所でもある。この時、切腹の介錯を命ぜられた服部半蔵は主君に刃を向けられず、後に仏門に入るということになったという話もある。

① 053-452-1634 (浜松市観光インフォメーションセンター) ② 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣990 ③ 見学自由

**関連する人物**  
**松平信康**  
まつだいらのぶやす

家康公と築山殿の長男。家康公が浜松へ本城を移した際に岡崎城主となる。徳川軍の数々の戦に出陣し活躍した。

**静岡・浜松**  
**3 清瀧寺**  
せいらいじ

松平信康を供養する天竜川沿いの静かな寺



織田信長に謀反の疑いをかけられて二俣城で切腹した家康公の嫡男、松平信康。ここは、その切腹を命じた家康公が信康を供養するために建立した寺であり、清瀧寺と名付けたのも家康公自身だったという。天竜川沿いの小高い森で、信康に思いを馳せながら静かに参拝したい。

① 053-452-1634 (浜松市観光インフォメーションセンター) ② 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣1405 ③ 境内自由

**関連する人物**  
**築山殿**  
つぎやまどの

今川義元の重臣の関口親永の娘。家康公と結婚して長男信康、長女亀姫をもうけるが、後に悲劇に見舞われる。

**愛知・岡崎**  
**2 松應寺**  
しょうおうじ

生き別れて、死別した父広忠を供養した寺



家康公が人質生活を送っていた時に、家臣に刺殺された父広忠。1549 (天文18) 年に月光庵の地にある能見ヶ原に埋葬された。家康公は今川方の人質として熱田から駿府へ向かう途中、お参りをしたとされる。後に岡崎に戻った家康公は、月光庵の地に松應寺を建立して亡き父の菩提を弔った。

2022年5月に、きれいに修復された御廟所

① 愛知県岡崎市松本町42 ② 境内自由

**静岡・浜松**  
**3 西来院**  
せいらいいん

非業の死を遂げた築山殿が眠る墓所



家康公の正室である築山殿の廟堂 (月窟廟) が置かれる寺。築山殿と長男信康は、信康の正室徳姫に謀反の疑いをかけられ、徳姫の父織田信長は激昂。信長との関係を重んじた家康公が家臣に命じて築山殿を殺害させた。首は家臣によって岡崎へ持ち帰られ、亡骸は西来院へ葬られた。

① 053-452-1634 (浜松市観光インフォメーションセンター) ② 静岡県浜松市中区広沢2-10-1 ③ 境内自由

**関連する人物**  
**築山殿**  
つぎやまどの

今川義元の重臣の関口親永の娘。家康公と結婚して長男信康、長女亀姫をもうけるが、後に悲劇に見舞われる。

田原城跡



**5 浜松**  
1579 (天正7) 清瀧寺  
自害した松平信康が清瀧寺で弔われる

**4 浜松**  
1579 (天正7) 二俣城跡  
松平信康が自害する

**3 浜松**  
1579 (天正7) 西来院  
築山殿が殺害されて、西来院に葬られる

**2 岡崎**  
1560 (永祿3) 松應寺  
父広忠の菩提を弔うために建立

**1 田原**  
1547 (天文16) 田原城跡  
田原城主に裏切られ、人質として尾張へ

家族との別れに始まる  
家康公の悲話を辿る

結婚、人質、養子などの仕組みが、一族を守るための政治手法だった戦国時代。血縁を重視した武家社会において、隣国との安全の担保として結婚させたり、同盟国の裏切り防止のために人質を出したりと、家族の身柄が戦術的に利用されていた。家康公の父である松平広忠も織田家に攻撃されたため政略として、有力者である緒川城主水野忠政の娘の於大と結婚する。しかしその跡継ぎの水野信元が織田側についていたために、於大と離縁。そのため家康公は3歳にして母と生き別れることになった。

母と3歳で生き別れ、6歳で人質生活となり、父とは8歳で死別。その後正室と嫡男を失うなど、自身の不運や家族との悲しい経験を持つ家康公。逸話に登場する場所や、弔いのために建立した寺などを知らう。

なっていました。その後も田原城主の裏切りに遭って織田家の人質になったり、8歳の時には広忠が暗殺されたりと不運が重なった。そして最大の悲劇といえるのが、正室築山殿と嫡男松平信康の死である。信康は、幼くして織田信長の娘徳姫と結婚する。そして信康21歳の時、徳姫は築山殿と信康が武田家と内通しているという謀反の疑いを記した訴状を父信長に送る。これに怒った信長は家康公に2人の処刑を要求。家康公は熟慮の末に、信長の要求を受け入れ、築山殿は家康公の家臣の手にかかって佐鳴湖畔で殺害され、信康は二俣城で自害することになった。

## 5 悲運に見舞われつつ、武家社会を生きる

# 家康公の相棒! スポット

天下統一のための戦いを繰り返していた家康公には鍵となる重要な相棒がいた。  
遠州攻めの協力者、拠点となる重要な城の城主、優れた才覚を持つ側室のゆかりのスポットへ。



今川を裏切り徳川に協力

## 井伊谷三人衆

家康公の遠州攻めの際に、今川氏真から徳川方へ離反した近藤康用、菅沼忠久、鈴木重時の3人の武将のことをいう。

静岡・浜松

### 1 龍潭寺

庭が美しい井伊家ゆかりの寺

徳川四天王でもある24代当主の井伊直政など、井伊家の歴代当主が眠る菩提寺。家康公の遠州攻めを先導した井伊谷三人衆の墓所もある。小堀遠州作の庭園が有名で、典型的な寺院庭園として貴重なものとされている。

053-542-0480 静岡県浜松市北区引佐町井伊谷1989 9:00~16:30 12月22~27日 1500

長篠・設楽原の戦いの功績で出世

## 奥平信昌

長篠・設楽原の戦いから城を守った長篠城主。その翌年に新城を築き、家康公の長女龜姫と結婚した。

捕虜解放の後も家康公に使え

## 菅沼定盈

捕虜間の戦い後に徳川方についた野田城主。武田軍の捕虜となったが、一貫して家康公に仕えた。

愛知・新城

### 3 長篠城跡 (長篠城址史跡保存館)

ながしのじょうあと(ながしのじょうしせきほさんかん)

長篠・設楽原の戦いをじっくり見てみよう

長篠・設楽原の戦いに関する資料の保存展示を行う。武田軍の状況、決戦前夜の様子、兵糧攻めによる籠城、鳥居強右衛門の活躍に関する展示などで戦いの構図を解説。長篠城の攻防と設楽原の決戦の様子がよくわかる。



0536-32-0162 愛知県新城市長篠字市場22-1 9:00~17:00(入館~16:30) 祝日の場合要予約 220

愛知・新城

### 2 野田城跡

のだじょうあと

信玄最後の戦があった野田菅沼氏の居城

三方ヶ原の戦いの翌年にあった野田城の戦い。城主の菅沼定盈は降伏して捕虜になるが、人質交換で野田城主に戻る。信玄はこの戦い後に甲斐へ戻る途中で死亡したとされ、野田城は信玄の最後の城攻めの地となった。



0536-22-0673(設楽原歴史資料館) 愛知県新城市豊島字本城地内 9:00~17:00(設楽原歴史資料館) 周辺自由

全幅の信頼を得ていた才女

## 阿茶局

政治力や武術にも優れていた家康公の側室。特に太坂冬の陣では和議の使者として活躍した。

静岡・浜松

### 4 甘露寺

阿茶局に会う際に家康公が訪れた寺

臨濟宗方広寺派の古刹。阿茶局が寺の西側にある鈴木家に預けられていたため、浜松に在城の家康公は寺の境内を好んで訪れたという。本堂前の庭にある古梅に、家康公が「未開紅甘露梅」と名前をつけたという逸話も。



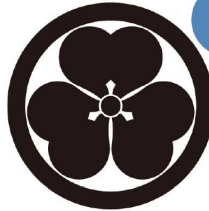
053-434-5320 静岡県浜松市東区中郡町1026 境内自由



徳川最強の有力武将

# 徳川四天王

家康公に一生の忠誠をつくり、その活躍から家康公に重用された、酒井忠次、榊原康政、本多忠勝、井伊直政の4名の武将を徳川四天王と呼ぶ。江戸幕府の設立にも貢献した彼らと家康公のつながりを見てみよう。



1527  
1596

## 代々松平家に仕えた 徳川家の最古参の側近 酒井忠次

現在の愛知県岡崎市に生まれる。家康公の駿府での人質生活にも同行し、吉田城主を任せられるなど家康公の信頼が厚い。長篠・設楽原の戦いで嵩ヶ嶽山の奇襲を信長に進言するなど、有能な軍師。



1548  
1606

## 秀吉を心底怒らせた 知略で勇猛果敢な武将 榊原康政

現在の愛知県豊田市に生まれる。一向一揆の武功により、家康公の「康」の字を与えられる。小牧・長久手の戦いでは、豊臣秀吉の批判を記した書面をばら撒き奇策で秀吉の怒りを買った。



1548  
1610

## その生涯で一度も刀傷を 負わなかったとされる猛将 本多忠勝

現在の愛知県岡崎市に生まれる。戦略に長け、武田の家に「家康に過ぎたものが二つあり、唐の頭に本多平八」と称されるなど、家康公はもちろん、信長や秀吉からも認められていた。



1561  
1602

## 赤い甲冑の軍団を率い 井伊の赤兎として恐れられる 井伊直政

現在の静岡県浜松市に生まれる。女城主井伊直虎を後見に成長し、家康公が小姓として召し出される。旧武田家臣で構成した軍団は「井伊の赤備え」と呼ばれ、直政は「赤兎」と恐れられた。

6  
人の心を掴む力と、  
信頼で味方につける

三河・遠州 相棒! 家康街道

ピンチの時に頼りになった徳川四天王をはじめ、戦いのキーマンとなる人物を味方にしてきた家康公。壮絶な合戦の裏側にあるストーリーのなかでも、周囲の人物にスポットを当てて家康公を見てみよう。

家臣団の結束を基盤に  
仲間を得て天下統一へ

家康公の家臣団には、家康公が人質から戻った時に困らないように節約して財を貯めたという逸話が残る。天下統一を目指す家康公を支えていたのは、強者揃いの徳川四天王をはじめとした家臣団の結束力だったといえる。また戦に強かったとされる家康公には、様々な場面で武将、側室、商人などの協力者が現れている。幼い頃からの苦学人である家康公は、そのせいか堅実なタイプと言われる。その堅実さが魅力となり、人を味方につけることができたのではないだろうか。



# 家康公の青春!スポット

自らの足場を固めるように、東三河の統一を図り、遠江へ進出した家康公。  
上ノ郷城への夜襲、堀川城での暴虐、引間城での女城主の供養など、若かりし日の行いを見てみよう。

静岡・浜松

## 4 堀川城跡

ほりかわじょうあと

家康公若き日の  
残虐な戦いの跡

1567(永禄10)年、今川氏への忠心を持つ村人たちによって築城。家康公は、たった1日で城を攻め落とし、城を守っていた約700人を打首にした。さらに、その首を都田川の土手に並べたという残虐な話がいまも伝えられている。城址北側にある獄門跡は、多くの村人が処刑された場所を示している。



053-522-4720(奥浜名湖観光協会) 静岡県浜松市北区鶴江町気賀5261 周辺自由

静岡・浜松

## 5 元城町東照宮

もとしろちょうとうしょうぐう

家康公が暮らした城跡に立つ神社

家康公の没後270年である1886(明治19)年に、引間城跡に創建。1570(元亀元)年、引間城を取り込む形で浜松城を築城した家康公が生活していた城跡である。また豊臣秀吉が訪れた城でもあったために、2人の武将を天下人へと導いた場所として「出世神社」とも呼ばれている。



053-452-1634(浜松市観光インフォメーションセンター) 静岡県浜松市中区元城町111-2 周辺自由

愛知・新城

## 6 満光寺

まんこうじ

一番鶏の鳴き声に助けられた逸話が残る

家康公が武田軍から逃げている途中、この寺に宿泊。鶏が鳴いたら起こすように命じて床に着いたが、鶏が夜明け前に鳴いたので朝を待たずに出発。この直後に寺は武田勢に囲まれたが、家康公は、すでに遠く離れており、命拾いをしたという逸話が残されている。後にその褒美として三石を与えたとする。



0536-34-0116 愛知県新城市下吉田中140 公開は10:00~15:00 平日(土・日・祝は営業) 志(1人V300程度)

歴史トリア

家康公の命拾い

満光寺の鶏、山中八幡宮の鳩ヶ齋、浜松八幡宮の桶など、家康公の命拾いの逸話は数多く残る。戦場ではない場所で、生き物や神仏に命を助けられる不思議な話が多い。

愛知・豊川

## 1 牛久保城跡

うしくびょうあと

今川からの自立を  
知らしめた戦いの場

1529(享禄2)年築城とされる平城。桶狭間の戦いで主君の今川義元を失いながら、故郷の岡崎に留まった家康公。その去就を明らかにしないまま、1561(永禄4)年に今川氏の拠点である牛久保城に奇襲をしかけた。この時、城は攻略できなかったが、自立を目指していることを表明することになった。



0533-89-2206(豊川市観光協会) 愛知県豊川市牛久保町城跡 周辺自由

愛知・蒲郡

## 2 上ノ郷城跡

かみのごうじょうせき

今川方の有力者である  
鶴殿氏を倒す

今川氏の勢力の一員だった鶴殿氏が本拠地とした城。三河統一を目指す家康公が、1562(永禄5)年に攻略。初めは苦戦していた家康公が忍者を使って夜中に火をつけ、城内混乱のうちに攻め落とし、城主の鶴殿長照は討ち死にしたと伝えられる。蒲郡市博物館では上ノ郷城の御城印の販売もある。



0533-68-1881(蒲郡市博物館) 愛知県蒲郡市神ノ郷町城山 周辺自由 ※蒲郡市博物館は10:00~17:00(入館~16:30) 月曜、第3火曜

静岡・浜松

## 3 椿姫観音

つばきひめかんのん

供養の花に因んで  
名付けられた観音

家康公からの引間城の明け渡しを要求に応じず、城を死守しようとした女城主お田鶴の方。最後まで懸念に戦って討ち死にしたことに感動した家康公は、お田鶴の方と侍女18人を手厚く葬ったという。親交のあった築山殿も椿の木を植えて供養し、城下の人たちもその死を悼んで供養を続けたという。



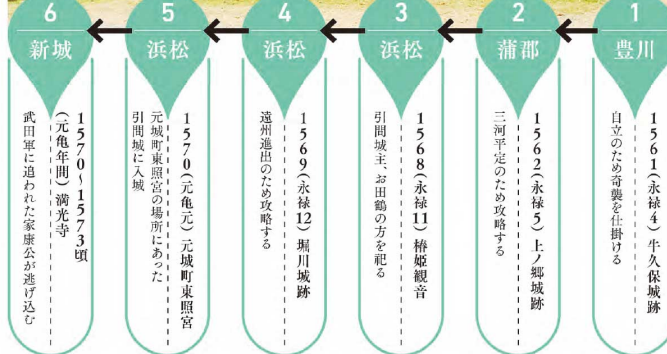
053-452-1634(浜松市観光インフォメーションセンター) 静岡県浜松市中区元浜町133 周辺自由

関連する人物

お田鶴の方

引間城の5代目城主。上ノ郷城で討ち死にした鶴殿長照の妹であり、家康公の正室築山殿とも親戚という関係。

満光寺本堂



若かりし家康公が  
選り取った自立への道

1547(天文16)年、父広忠は敵対する織田軍に対抗するため、今川義元に援軍を求めた。その見返りに義元が人質を要求したため、家康公が人質となることに。ところが駿府までの道中で誘拐され、そのまま織田方の人質になってしまう。その2年後に人質交換で今川方へ送られて、その人質生活は約13年にも及んだ。ただ人質といっても義元にしてみれば家臣の候補でもあり、今川家の軍師で僧侶の太原雪齋に教育させるなど大切に扱ったという。家康公はよく学び、その成長とともに元服、結婚、初陣などを経験していった。そして1560(永禄3)年、運命の桶狭間の戦いに参戦。義元が没したことで家康公の立場は危うくなり、岡崎城主として自立する「今川家臣として引間合戦をする」などの選択肢から自立の道を選ぶのだった。そして秘密裏に織田信長と和睦を進めて、豊川の牛久保城や蒲郡の上ノ郷城を攻めて東三河をまとめ上げ、遠州にも進出した。桶狭間の戦いから1570年(元亀元)に浜松城を本城にするまでを、約10年で成し遂げたのだ。しかしながら、その後も三方ヶ原の戦いなど、天下統一のための武田軍との激戦が待ち受けているのであった。

# 7 人質生活から自立し、東三河や遠州へ進出

人質として悔しい思いをしながらも、今川家では家臣候補として教育を施された家康公。桶狭間の戦い後の自立を成功させ、時には非情なまでの戦い方をして東へと歩を進めていったのである。

## 岡崎市

### 天恩寺

てんおんじ

家康公が長篠・設楽原の戦いの戦勝祈願をした寺。敵に狙われた家康公が、ご本尊「延命地藏菩薩」に命を救われたと伝わる。



### 菅生神社

すこうじんじや

家康公が25歳の時に厄除けをした岡崎最古の神社。

### 六所神社

むくしよじんじや

家康公が誕生した際に産土神として参拝。

### 若宮八幡宮

わかみやばちまんぐう

家康公の長男松平信康の首塚がある。

### 八柱神社

やほしやじんじや

家康公の正室築山殿の首塚がある。

### 隨念寺

ずいねんじ

家康公が祖父松平清康と清康の妹久姫の菩提を弔うために創建。

### 龍城神社

たつきじんじや

岡崎城に隣接して鎮座。家康公生涯の朝、金の龍が現れて昇天したという伝説が残るパワースポット。

### 妙源寺

みょうげんじ

一向一揆の際、家康公が難を避けた寺。

### 法蔵寺

ほうざうじ

幼少の家康公が手習いをしたと伝えられる寺。

### 小豆坂古戦場

あずささかこせんじょう

一向宗と家康公との戦いの場。槍立松、血洗池、馬洗い池などが見られる。

### 信玄塚(新城市)

しんげんづか

長篠・設楽原の戦いの戦没者を埋葬した塚とされる。毎年、お盆の夜に、戦没者を弔う「火おんどり」が行われている。



### 医王寺山／武田勝頼本陣跡(新城市)

いおうじやま／たけだかつよりほんじんあと

長篠・設楽原の戦いで武田勝頼本陣が置かれていた山。山頂から長篠城跡を望むことができる。

### 新城城跡(新城市)

しんしろじょうあと

長篠城を武田軍から守り抜いた奥平信昌によって新たに築城。この城の名前が現在の新城市の由来となった。

### 龜山城跡(新城市)

かめやまじょうあと

奥平氏の居城。武田信玄の死後、家康公からの誘いに乗って徳川家に従った奥平氏。その後、長篠城を任せられることになった。

### 鳥居強右衛門磔死の碑(新城市)

とりいすねえもんたくしのおひ

鳥居強右衛門が処刑されたという場所。長篠城址から豊川を挟んで南西側にある。

### 徳川家康本陣跡／八劔神社(新城市)

とくがわいえやすほんじんあと／やつるぎじんじや

長篠・設楽原の戦いで家康公が本陣を置いた。合戦当時、樹木はなく、目の前に決戦場が広がっていた。

### 田峯城(設楽町)

たみねじょう

菅沼定信が築城した田峯菅沼氏の居城。本丸などの遺構が残されており、本丸御殿、本丸大手門、搦手門の復元もある。

### 寺脇城址(設楽町)

てらわきじょうし

寺脇城主の奥平信光は、津具城主の後藤善心を攻め、家康公から感状を賜った。

### 設楽城跡(東栄町)

したらじょうせき

設楽氏により築城。戦国時代に城主となった伊藤氏が支城として整備。

### 別所城跡(東栄町)

べっしょじょうせき

長篠・設楽原の戦いで武田方についた伊藤氏が、負けて甲斐に逃げたため廃城。

### 黒川城跡(豊根村)

くろかわじょうせき

家康公の祖父松平清康に宇利城を攻略された熊谷氏の子孫が豊根村に落ち延びて築城。

まだある

## 家康公ゆかり&戦国歴史スポット

三河・遠州 家康街道エリアには、家康公にまつわるスポットが点在している。知る人ぞ知る歴史スポットや、江戸幕府誕生後のゆかりスポットなども紹介。

### 龍拈寺(豊橋市)

りゅうねんじ

今川義元の死後、家康公の自立を知った今川氏真が家康公側の人質13人を、この寺の門前で処刑。東三河勢の今川氏からの離反を決定的にした。

### 普門寺(豊橋市)

ふもんじ

三河と遠州の国境にある名刹。今川義元が再興し、家康公も引き継いで保護した。

### 豊川稲荷(豊川市)

とよかわいなり

家康公をはじめ、今川義元、織田信長、豊臣秀吉など、多くの武将から広く信仰を集めた。

### 伊奈城跡と花ヶ池(豊川市)

いなじょうあととはながいけ

徳川家家臣である伊奈本多氏の居城。すぐ東にある花ヶ池は「三つ葉葵の紋」発祥ゆかりの地。



### 糟塚砦跡／龍徳院(豊川市)

かすづかとりであと／りゅうとくいん

家康公が東三河地方進出のために築いたといわれる砦。跡地に龍徳院が立つ。

### 西明寺(豊川市)

さいみょうじ

家康公が八幡砦で今川氏と戦った際、空腹をしのいだ寺。その恩義に報いるため「最」の字を「西」と改めて西明寺と名付けた。

### 財賀寺(豊川市)

さいかじ

牧野古白が再建。以降、今川氏、徳川氏などの諸將の庇護を受けた。

### 不相城址(蒲郡市)

ふそうじょうし

家康公と戦った鶴殿氏の居城のひとつ。現在、蒲郡クラシックホテルが立つ丘にあった。

### 龍門寺(田原市)

りゅうもんじ

家康公が宿泊したとされる寺。

## 浜松市

### 方広寺

ほうこうじ

家康公が岡崎城から今川領の遠江国へ侵攻した道中に立ち寄ったことが伝えられる。



### 犀ヶ崖古戦場

さいががけこせんじょう

浜松城の北、約1kmにある沢谷状の地形のことを犀ヶ崖といふ。家康公が三方ヶ原の戦いで一矢報いるために夜襲を仕掛けた場所と伝わる。

### 夏目次郎左衛門吉信の碑

なつめじろうざえもんよしののおひ

家康公の家臣、夏目次郎左衛門吉信が「我こそは家康なり」と影武者として討ち死にした場所。犀ヶ崖古戦場の北に立つ。

### 徳川秀忠公誕生の井戸

とくがわひでただこうたんのいんど

家康公の三男で徳川2代将軍となった徳川秀忠の産湯の井戸。碑は遠州鉄道遠州病院駅前に立つ。

### 気賀関所

きがせきしよ

気賀宿の入口に立つ関所。家康公によって設けられたとされる。

## 東三河

### 二連木城址(豊橋市)

にれんぎじょうし

武田氏が吉田城を攻めた際に攻防戦の舞台となった城。城址の一部は大口公園となっている。

### 五本松城址(豊橋市)

ごほんまつじょうし

家康公の側室で2代秀忠の母西郷局の出身である西郷氏の居城。